

# 表現力を高めるための指導法の工夫

～Small Talk の指導について～

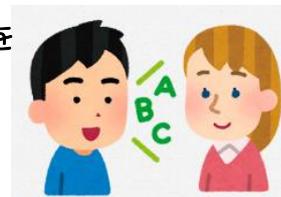
## なぜ Small Talk を行うのか？

新学習指導要領では、互いの考えや気持ちなどを伝え合う対話的な言語活動を一層重視する視点から、「話すこと〔やりとり〕」の領域が設定されました。

Small Talk は、

- (1) 既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図ること
- (2) 対話の続け方を指導すること

の2点を主な目的としており、児童・生徒が身近な話題について、自分自身の考えや気持ちを楽しみながら伝え合う中で、既習表現を繰り返し使用する機会を保障し、その定着を図るために行うものです。児童同士、生徒同士がやりとりできるよう、段階を踏んで指導することが必要です。



## 1 Small Talk 指導のポイント



- 1 好きなスポーツ、夏休みの思い出、冬休みの計画、学校行事、週末にしたことなど、

**身近な話題**を取り上げて**自分の考えや気持ち**などを**伝え合う場**を設定しましょう。

※文部科学省「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」実習編3  
Small Talk(P.130-134)に具体的な実例が掲載されています。

- 2 **対話を継続することができる表現**を段階的に取り入れていきましょう。

※具体的な「対話を続ける表現」は次の「2 指導の実際」で紹介

- 3 「活動①」→「指導」→「活動②」の過程で指導しましょう。

・「活動①」では、話題について第1回目のやりとりをします。



・「指導」では、児童・生徒が「言いたくも言えなかった表現」を学級全体で共有し、「既習事項を生かしてどんな表現ができるか」について児童・生徒から引き出します。



・「活動②」では、同じトピックについて第2回目のやりとりをします。

- 4 **指導の成果が出てくるのには時間がかかることを理解して指導**しましょう。フォーマットを暗記させるなど、**その場限りのパフォーマンスを求める指導はしません**。

## 2 指導の実際



以下のように、先生自身が自分のことについて英語で話しながら話題を提供します。例文の話題は「冬休みの予定」です。自分のことを話すことによって生徒に発話のモデルを示し、表現のヒントを与えることになります。

Do you have any plans for winter vacation?

I'm going to visit my friend in Yamagata.

I go skiing with him every winter.

I also enjoy onsen in Yamagata.

Ginzan onsen is my favorite.

I'm looking forward to seeing my friend.



生徒の発話に役立つ表現を

意識的に取り入れます。

(二重線のような表現)

この中に、以下の★ような児童・生徒との対話を盛りこんでみましょう。表現力『やり取り』の有効な指導の方法となります。児童・生徒が不完全な英文で対話している場合には、指導者が正しい英文を言い直し、児童・生徒の「気づき」を促しながら対話を続けます。

T : Do you have any plans for winter vacation?

I'm going to visit my friend in Yamagata.

★Are you going anywhere, ~ ? 「あなたはどこかに行くの、~ ?」⇒ 『質問』

S : I am going to Tokyo.

T : ★Oh, you are going to Tokyo. 「あら、東京に行くんだね。」⇒ 『確認』(繰り返し)

★Sounds good. 「いいね。」⇒ 『感想』

★What are you going to do? 「何する予定なの？」⇒ 『質問』



参照：外国語活動・外国語研修ガイドブックP. 84 Small Talk

同 P.130-P.134 Small Talk

いよいよ、「活動①」→「指導」→「活動②」のパターンで児童同士、生徒同士の Small Talk をいれてみましょう。はじめはうまくいかないかもしれませんが、帯学習等で継続することにより、徐々に会話を続けることができるようになります。

《会話を続けるための役立つ会話技術や表現として…こんな表現を段階的に使わせてみましょう》

- ① つなぎ言葉・相づち ( Well…/ I see./ Really? など )
- ② 自分のことを述べてから相手に質問する ( I like ○○. How about you? など )
- ③ 確認・質問 ( Pardon?/ You like what?/ 相手が言ったことを同じように言う )
- ④ 感情・感想 ( That's nice./ Great./ Wonderful. など )
- ⑤ 話題を切り出す ( Are you interested in ~? )



《 参考 》

『移行期間における指導資料について』(2019 文部科学省)  
文部科学省「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」